

②ミズアオイの育て方

■ミズアオイについて

沼や田んぼなどの浅い水辺に生えます。1年で枯れます。青むらさき色のとてもきれいな花が咲きます。大昔から人々に親しまれ、野菜のように栽培して食べられていたようです。オニバスと同じく、昔は「さすてな京都」周辺の大きな池や沼にも生えていた。水路の工事や除草剤の影響で、日本全国で数が減っています。



ミズアオイの花

■ミズアオイの育て方

必要なもの

水：水道の水で大丈夫。水は土の上から5～10cmあると良いです。水が少なくなったら足して、水がなくなるようにしましょう。

土：ホームセンターなどで売られている「荒木田土」やイネ用の土が良いです。土の厚さは容器の底から15cmあると良いです。

容器：土が入り、水がためられれば何でも使えます。バケツやトロ箱などがおすすめ。



トロ箱で育てたミズアオイ

タネを植える・芽が出てくる（3～4月）

- ・ 陽がよくあたる所で育てましょう。
- ・ タネは土の上にばらばらとまけば大丈夫。容器の大きさにもよりますが、くばったタネを全て同じ容器に撒いてOK。
- ・ 3月終わりから5月はじめごろに芽を出します。まず小さい針のような葉（右の写真）が伸びてきます。



ミズアオイの芽生え

葉の形が変わりながら大きくなっていく（4～8月）

- ・ 芽が出てから、小さな針のような葉→ボートのように水面に浮く葉→立ち上がる大きな葉…と、葉の形が次々変わりながら大きくなっていきます。ミズアオイが元気だとハート状のかわいい葉に成長します。



芽が出て少し大きくなった葉



ボートのように水面に浮く葉



立ち上がる大きな葉
(より育つとハート形の葉になる)

花がさく・果実ができる (8~10月)

- ・ 8月から10月頃まで花をつけます。花は大きくとてもきれいな青むらさき色。咲いたら写真を撮って、オニバス里親プロジェクトのみんなに知らせましょう。
- ・ 咲いた花は、しばらくすると果実になる。8~10月の間に花と果実が混ざってつきます。



ミズアオイの花



ミズアオイの果実

種子の収穫 (9~11月)

- ・ 9月終わりごろ、茎が折れ曲がり、果実を水の中につけるような形になります。こうなると果実が熟したサイン。果実をとって集めましょう。
- ・ 集めた果実は水を入れた別の容器に入れておくと、果実が割れて中から小さなタネがたくさん出てきます。
- ・ タネが出てきたら果実の「カラ」は捨てて、タネを水で洗い、水を入れたペットボトル等に入れて冷蔵庫で保存してください。種子は細かいので水と一緒に流さないように注意しましょう。「茶こし」などを使うと洗いやすいです。



茎が折れ曲がり水につかった果実



果実から出てきたタネ

片付け

- ・ ミズアオイは 1 年で枯れます。葉が枯れたら、水を抜き、枯れた株は抜いて捨てましょう。枯れた株を土に混ぜてしまっても良いです。
- ・ 来年もミズアオイを育てたいときは、土をかき混ぜて天日干しにして乾かしましょう。土の状態が良くなります。



冬になり枯れたミズアオイ

注意!! オニバス・ミズアオイを捨てないで!

オニバスやミズアオイを川や池、水路などに捨てては絶対にダメ!

地域の自然に悪い影響を与えるかもしれません!